

(社) 日本建築学会 近畿支部  
2016年度第1回空気環境部会議事録

日時：2016年9月6日(火) 16:00-18:15

場所：大阪市立大学 梅田サテライト講義室 104教室

出席者：東(実)、小林(幹事)、堤、中村、松岡、桃井、山中(主査)、吉田、竹村(記録)(敬称略)

資料：・議事次第 資料1-0  
・空気環境部会部会員名簿【小林幹事】 資料1-1  
・平成28年度部会費に係る資料【小林幹事】 資料1-2  
・平成28年度支部研究補助費に係る資料【小林幹事】 資料1-3  
・大日本私立衛生会雑誌第41号(話題提供資料)【小林幹事】 資料1-4

議事：

1. 委員の自己紹介と部会名簿確認 [資料1-1]

- ・新入部会員として、吉田先生(奈良女大)、中嶋先生(神戸大)、橘高先生(神戸大)が報告され、そのうち部会参加の吉田先生から自己紹介があった。改めて既存メンバも自己紹介を行った。
- ・未入会者として、小椋先生(京都大)、伊庭先生(京都大)

2. 前回シンポの収支報告

- ・次回に行うことが確認された。

3. 今年度予算 [資料1-2] [資料1-3]

- ・例年の活発な活動から、今年度も120,000円の予算がついていることが報告された。
- ・さらに、支部研究補助費として、U40と合わせて200,000円の交付決定が報告された。

4. 今年度および次年度の活動方針の検討

- ・部会立ち上げ以降のシンポジウム履歴が振返られた。

回	年度	タイトルまたは内容
①	2007	住まいのエコ・トータルプラン~安全・健康な住まいを考える
②	2008	建物におけるアスベスト問題の現状と課題
③	2009	家具によるシックハウス問題の現状と対策
④	2011	住宅換気の現状と今後のあり方を考える ~何故住宅は自然換気だけではいけないか~?
⑤	2013	国内外における換気・空気質基準の現状と問題点
⑥	2015	PM2.5をはじめとする最近の室内外微粒子問題と健康影響

- ・次年度末のシンポジウムに向けた2年分の活動内容として、「空気環境と健康被害、その防止」という仮題が挙げられた。室内の微生物と感染、測定技術などについてのシンポジウムを考えていく。
- ・今年度は2回の講演会開催(12月と3月)を目指す。次年度は上記のシンポジウムを1回開催する。  
→12月は、堀先生(順大)、森本氏(新菱冷熱)のお二人と、予定が合えば柳先生(工学院大)か倉渕先生(東京理大)をお招きして講演会を開催する。山中主査から打診する。  
日程は、12/2(金)、6(火)、20(火)、22(木)で講演者に選んで頂く。12月の参加が難しい講演依頼者には、下記の3月の講演会候補日を打診する。  
→3月は、山口氏(ダイダン)、小林先生(大阪市大)のほか、可能ならYuguo Li先生(香港大)もお招きして講演会を行う。  
日程は、3/1(水)、2(木)、3(金)、6(月)、8(水)、10(金)、15(水)、23(木)で打診する。
- ・上記の下打合せと勉強会のため、次回部会は11月16日(水)17時~で開催する。主には、AIJの第19回空気シンポジウム(2010年)の内容や、その他の論文・研究報告類などを読み合わせる。  
空気シンポジウム資料については、ファイルの部会内共有を小林幹事が準備する。

5. 話題提供 [資料1-4]

- ・換気研究の歴史を辿った今年度の空気シンポジウムの御講演内容の一部である資料1-4について、小林幹事から内容が紹介された。室内空気質研究は、公衆衛生学が起源であるだろうことや、近代的な換気力学

は昭和 30 年代まで見られないことが紹介された。ペッテンコッフエルが現役だった明治時代の炭酸ガス濃度測定法などが話題に上がった。

6. 次回部会（予定）

・日時：2016 年 11 月 16 日（水）17 時～

※今年度テーマ「空気環境と健康被害」について、話題提供を各委員で行う。

主には、AIJ の第 19 回空気シンポジウム（2010 年）の内容や、その他の論文・研究報告類など。

以上